

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和6 年度

市町村名	鴻巣市		
提案事業名	鴻巣市SDGs推進事業		
事業期間	令和6 年度	～	年度
事業の必要性、目的	SDGsの特徴である経済・社会・環境の好循環による持続可能なまちづくりを実現するため、普及啓発から行動変容につなげる仕組みを構築することで、市民・事業者・行政等が連携しながら地域課題の解決を図る。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) SDGsに関心のある市民の割合		
	(成果検証の具体的な方法) 市民アンケート		
	(上記の指標を設定した理由) SDGsを自分ごととして捉え、SDGsの達成に向けた行動変容を促進していくためには、SDGsについて学ぶ機会を提供し、関心を持ってもらうことが重要であるため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (R6年5月現在)	新規取得	目標値 (R7年5月時点)
	新規取得 + 5 ポイント		
	(施設建設等の場合)		
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法 及び特記事項	市ホームページにて、まちづくり市民アンケートの結果として公表する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和6年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① (仮称)SDGs未来会議の開催	中学生が提案するSDGsを切り口とした今後のまちづくりについて、市ホームページや市広報紙で発信することにより、市民のSDGsへの関心の向上につながる。	35
② SDGsフェスティバルの開催	お笑い事務所との連携企画や関係部署・市内事業者の体験・展示ブースなど、SDGsを楽しく学べるイベントの開催により、市民のSDGsへの関心の向上につながる。	4,965
③ SDGs推進ノベルティの制作	本来廃棄していたものを利用した商品を開発するなど、SDGsの視点を取り入れた記念品の制作により、式典に参加する市民の新たな気づきやSDGsへの関心の向上につながる。	1,100
④ 婚姻届・出生届70周年記念SDGsVer.の作	コウノトリと共生する社会は本市のSDGs推進の目指す姿であり、コウノトリをモチーフにしたデザインの婚姻届・出生届の作成により、市民のSDGsへの関心の向上につながる。	228
⑤ こうのとりSDGsパートナー宣言制度の構築	SDGs達成に向けて取り組む事業者等の増加により市全体としてSDGsを推進していく機運が高まり、市民のSDGsへの関心の向上につながる。	473
⑥ SDGsポイント制度の構築	様々な地域活動とSDGsとの関連が可視化され、活動への参加を通して市民のSDGsへの関心の向上につながる。	4,147
合計		10,948

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	包括連携協定を締結している金融機関等と連携し、民間の持つノウハウを活かして事業を推進する。また、パートナー企業のイベントへの出展やSDGsポイント事業への参画など、6つの構成事業を1つのパッケージとしてそれぞれの特徴を活かして実施する。
成果指標の達成見込み	目標値については、全国の関心度と比較して+10ポイント程度を目指すこととし、現状値としてSDGs未来都市の選定を受けたことにより5ポイント高い結果を想定した上で、本事業を実施する1年間で5ポイント(人口にして市民6,000人)向上させるものであり、学校での取組や記念式典での取組など子どもから大人まで幅広い年代に向けた事業の展開と市広報紙やSNS等による市民への情報発信により、達成を見込むことができる。